

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
理学療法士学科 夜間部	人	人	人	人	6人	6人	6人	人	24人	26人	
計	人	人	人	人	6人	6人	6人	人	24人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	医療英語	15	小松 真奈美	兼任
		情報科学	15	森 清人	兼任
		生物学	15	永吉 啓吾	兼任
		倫理学	15	辻 いづみ	兼任
		健康科学	15	金谷 規弘	専任
		コミュニケーション論	15	川原田 進	兼任
		社会学	15	河野 孝範	専任
専門基礎 分野	人体の構造と機能及び心身の発達	骨関節系解剖生理学Ⅰ	30	宇留島 嵩人	専任
		骨関節系解剖生理学Ⅱ	15	宇留島 嵩人	専任
		神経系解剖生理学Ⅰ	30	孫 明洲	兼任
		神経系解剖生理学Ⅱ	15	金谷 規弘	専任
		内部系解剖生理学	30	孫 明洲	兼任
		運動学	30	横山 想	兼任
		動作学Ⅰ	15	横山 想	兼任
		動作学Ⅱ	15	疋田 佳希	兼任
		解剖生理学実習	15	西尾 嘉津政	専任
		人間発達学	15	高田 寛彬	兼任
		体表解剖学	15	辻 いづみ	兼任
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	15	西尾 嘉津政
	臨床心理学		15	長澤 佑貴子	兼任
	精神医学		15	佐藤 雅幸	兼任
	整形外科Ⅰ		15	小嶋 高広	専任
	整形外科Ⅱ		15	小嶋 高広	専任
	神経内科学Ⅰ		15	山田 一貫	専任
	神経内科学Ⅱ		15	山田 一貫	専任
	内科学Ⅰ		15	安丸 直希	兼任
	内科学Ⅱ		15	安丸 直希	兼任
保健福祉医療とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論		15	河野 孝範	専任
	リハビリテーション医学	15	宇留島 嵩人	専任	

専門分野	基礎理学療法	理学療法概論	15	辻 いづみ	兼任
		運動療法学	15	横山 想	兼任
		理学療法技術論	15	川原田 進	兼任
		物理療法学	15	川原田 進	兼任
		義肢装具学	15	佐伯 訓明	兼任
	理学療法管理学	理学療法管理学	15	高木 綾一	兼任
	理学療法評価学	理学療法評価学 I	30	三浦 準也	兼任
		理学療法評価学 II	30	小嶋 高広	専任
		疾患別動作分析学	15	疋田 佳希	兼任
	理学療法治療学	理学療法治療学 I A骨関節	30	菊地 淳	兼任
		理学療法治療学 I B スポーツ・ウイメンズヘルス	15	菊地 淳	兼任
		理学療法治療学 II A中枢神経	30	稲村 一浩	兼任
		理学療法治療学 II B末梢神経・脊髄損傷	15	山田 一貫	専任
		理学療法治療学 III神経筋	15	山田 一貫	専任
		理学療法治療学 IV発達	15	山中 善詞	兼任
		理学療法治療学 V A循環・呼吸	15	前田 和成	兼任
		理学療法治療学 V B代謝・癌	15	福井 浩之	兼任
		理学療法治療学 VI疼痛・皮膚	15	増井 健二	兼任
	地域理学療法学	地域理学療法学	15	河野 孝範	専任
		生活環境論	15	波野 優貴	兼任
	臨床実習	見学実習	40時間	金谷 規弘	専任
		地域リハビリテーション実習	40時間	河野 孝範	専任
		実習前演習 I CBT	40時間	永吉 啓吾	兼任
		実習前演習 II OSCE	40時間	山田 一貫	専任
		評価実習	160時間	山田 一貫	専任
		総合実習 I	280時間	小嶋 高広	専任
		総合実習 II	280時間	小嶋 高広	専任

その他	その他	国家試験演習Ⅰ	15	永吉 啓吾	兼任
		国家試験演習Ⅱ	15	永吉 啓吾	兼任
		国家試験演習Ⅲ	15	永吉 啓吾	兼任
		国家試験演習Ⅳ	15	永吉 啓吾	兼任
		国家試験演習Ⅴ	30	永吉 啓吾	兼任
		総合演習Ⅰ	15	西尾 嘉津政	専任
		総合演習Ⅱ	15	西尾 嘉津政	専任
		総合演習Ⅲ	15	安丸 直希	兼任
		理学療法研究法	15	金谷 規弘	専任
		特別講義	15	春本 千保子	兼任

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
見学実習	1年後期	コミュニケーション論	1年前期
		リハビリテーション概論	1年前期
地域リハビリテーション実習	2年後期	理学療法評価学Ⅱ	2年後期
		疾患別動作分析学	2年後期
評価実習	3年後期	実習前演習Ⅰ CBT、実習前演習Ⅱ OSCE	3年前期
		総合演習Ⅱ	3年後期
総合実習Ⅰ	4年前期	総合演習Ⅲ	4年前期
総合実習Ⅱ	4年前期	総合演習Ⅲ	4年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	学校関係者評価委員会
委員名（委員長）	関本 充史、西 基之、湖崎 淳、段上 靖治、高木 枝美子、伊藤 紀美代、田中 幸恵
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	自己点検表に基づく自己評価と学校関係者による評価を実施している。 委員会では2022年度重点項目結果および自己点検自己評価について報告を行った。評価項目1-3学校の将来構想を抱いているか、2-9情報システム化等による業務の効率化が図られているか、3-14キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか、3-16育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか、4-20資格取得率の向上が図られているか、4-21退学率の低減が図られているか、4-22卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか、5-23就職に関する体制は整備されているか、5-25学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか、6-33防災に対する体制は整備されているか、7-34学生募集活動は、適正に行われているか、10-46学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか、10-47学生のボランティア活動を奨励、支援しているかの改善状況について報告を行った。 2023年度重点項目目標について説明。 委員からは4-22卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか、4-21退学率の低減が図られているかについて意見が挙げられた。
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/schoolEvaluation/2023.html ）
自己点検・評価組織名	教育課程編成委員
委員名（委員長）	橋本 勝信、中道 真樹、平木 たい子、林 亜遊、永吉 啓吾、鎌田 莊平、吉田 美香、高柿 有里、澄川 良一、藤井 達也、関本 充史、林 仁、西基之、段上 靖治、堀毛 信志、加藤 祐一、田中 孟、名古 将太郎、本末 隼
組織の開催頻度	1年に4度
組織の取り組み内容	5月・12月に学科ごとの小委員会を開催し、教育課程編成委員での取り組みと成果について検討を行った。小委員会での協議内容を踏まえて、6月・1月に全学科で全体会を開催した。 第1回全体会では、今年度 学校運営、今後の医療福祉が目指すところ、教育課程編成小委員会 2023年度 活動計画報告を行い、今後の医療福祉が目指すところについて委員から意見を行いディスカッションを行った。 第2回全体会は今年度の学校運営振り返りと教育課程編成小委員会2023年度活動報告を行い、①医療職における合理的配慮の実際と②これからの医療職に求められる人材確保とその育成について委員から意見を行いディスカッションを行った。
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/ ）

【自己評価4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務部・FSDS委員会
	委員構成等	平木たい子、林亜遊、永吉啓吾、田中研志、高柿有里、小嶋高広、山元明彦、中西令子、遊佐友美、西明子
	改善の仕組みの実際	年4回の授業アンケートの実施し、学生からの意見を基に授業内容の改善を実施している。 講師会議を開催し、学校・学科の教育方針や教育内容について協議を行っている。新入職教員対象の公開授業とベテラン教員対象のオープン授業によって授業内容の改善を行っている。 上記を踏まえてシラバスを作成。教務部においてシラバスの内容を確認し、HPで公表している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

<p>一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 2022年に受審 HPで公表（URL：https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/rehabilitation/index.html）</p> <p>私立専門学校等評価研究機構 第三者評価 2023年に受審 HPで公表（URL：https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/schoolEvaluation/2023.html）</p>
